

# 畜産とくつく情報

平成14年5月16日

問い合わせ先  
長野県庁畜産課  
電話026-235-7232

## あなたの鶏

## ニューカッスル病のワクチンを投与していますか！

平成14年5月11日、福島県相馬郡小高町のブロイラー飼育農家(飼養規模：約2万羽)において、また13日には岡山県井原市の採卵鶏飼養農家(飼養規模：約9万4千羽)において、ニューカッスル病の発生がありました。また、昨年6月には、本県においても発生しています。

ニューカッスル病は、高い死亡率と強い感染力から鶏の病気の中で最も恐れられています。もしこの病気が発生すると、その強い病勢から、自ら飼養している鶏ばかりでなく養鶏場や卵の流通業者まで影響が及ぶことがあるため、法に基づく家畜伝染病に指定されています。

鶏を飼養している方は、鶏にこの病気を発見した(疑う)場合には、最寄りの家畜保健衛生所又は獣医師へ届け出ることが義務づけられています。

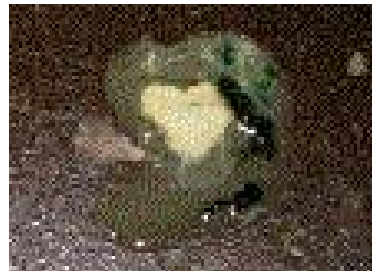
また、飼養している鶏をニューカッスル病から守るために、ニューカッスル病ワクチンを投与しましょう。

### ニューカッスル病とは

区 分	内 容
病 原 体	・ニューカッスル病ウイルス
感 受 性	・鳥類における感受性は広い(鳥類の236種に感染することが知られている。) ・特に鶏、ホロホロチョウ、七面鳥、クジャク、ウズラ、キジなどは感受性が高く、ガチョウ、アヒルでは発病しにくい
伝 播 方 法	・感染した鶏から、鼻水、涙、排泄物に多量のウイルスが排泄され、伝播
他の農場(場所)への感染	・ウイルスを保有している鶏の導入、感染している野鳥の侵入、汚染物あるいは人による持込
症 状	・緑色の下痢便、奇声や開口呼吸などの呼吸器症状、脚麻痺や頸部捻転などの神経症状
解 剖 所 見	・腺胃や盲腸扁桃などに出血性潰瘍



開口呼吸



緑色下痢便

## ワクチンの投与方法

ワクチンの投与方法には次のようなものがあります。

区 分	用 法
飲水法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投与に先立ち一時（2～3時間）断水</li> <li>・鶏の日齢に応じてワクチンが全ての鶏に行き渡り、かつ2～3時間で飲みつくされるよう、ワクチン溶液量を調整して飲水投与</li> </ul>
点眼（点鼻）法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ワクチンを専用の溶解液又は精製水で溶解後、目薬のように点眼（点鼻）</li> </ul>
スプレー法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ワクチンを特殊な器具で霧状にして、鶏に噴霧</li> </ul>
筋肉注射法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不活化ワクチンを筋肉内に注射</li> </ul>

- ・愛玩鶏を飼育している等の少羽数にワクチンを投与する場合は、点眼（点鼻）法をお勧めします。
- ・鶏以外へのワクチン投与については家畜保健衛生所へお問い合わせ下さい。
- ・一般の養鶏場ではワクチンを2～3ヶ月間隔で実施していますが、愛玩鶏の場合でも、3～4ヶ月の間隔でワクチンを投与することをお勧めします。ワクチン投与については、お近くの家畜保健衛生所か動物病院へご相談下さい。
- ・ワクチンを接種していなかったり、正しく使用していない場合は、免疫力が不足していますので、ニューカッスル病の流行があれば、感染し発病してしまうことがあります。  
ワクチンは、使用説明書のとおりに使いましょう。

## 消 毒

区 分	内 容
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾病の発生予防、飼育によって生じた環境汚染を防ぐ効果</li> </ul>
消 毒 薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒薬にはたくさんの種類あり</li> <li>・鶏舎等を消毒する場合は、「逆性石鹼」と「消石灰」を使用 逆性石鹼：刺激や毒性が低く腐食性もない 鶏舎、餌箱、給水器、鶏体、飲水の消毒に使用 消石灰：飼育環境の土壌消毒 消石灰を床面に十分量散布 床面が土の場合は、散布後土を30cm以上掘り起こし、再度消石灰を散布すると消毒効果が上がる</li> </ul>
消毒方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒に先立って鶏舎等を十分に清掃 （消毒薬の効果は、有機物（排泄物等）があると著しく落ちることあり）</li> <li>・鶏舎等の消毒は以下の手順による <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ホコリ等の飛散防止のために、軽く散水</li> <li>(2) 天井、壁等の排泄物やホコリを取り除き、清掃</li> <li>(3) 水洗し乾燥</li> <li>(4) 消毒薬を希釈し、園芸用の噴霧器で床面が濡れる程度を目安に散布</li> <li>(5) 消毒終了後は、十分に乾燥後、鶏を鶏舎に戻す</li> <li>(6) 消毒はできるだけ好天で暖かい日を選んで実施</li> <li>(7) 餌箱や給水器は、消毒薬をバケツ等に入れ10分以上浸漬</li> </ol> </li> </ul>

ニューカッスル病についての相談は、家畜保健衛生所で行っています。

（衛生係）